

令和2年8月2日

報道各社様

東山総合公園
担当 動物園 茶谷・江口
電話 782-2111

ツシマヤマネコが死亡しました

令和2年8月2日に東山動植物園で飼育していたツシマヤマネコ（No. 28、オス、16歳、愛称「さんちゃん」）が死亡しましたので、下記のとおりお知らせします。

記

1 死亡したツシマヤマネコ

- ・愛称：さんちゃん
- ・血統登録番号：No. 28
- ・性別：オス
- ・年齢：16歳（2004年4月19日福岡市動物園生まれ）

2 死因

多臓器不全

3 死亡までの経緯

数年前より腎臓が悪く、療養食を与えていました。今年2月の定期健診で腎臓の肥大が進んでいることが分かり経過を見守ってきましたが、先月末から採食量が落ちはじめ、8月1日に食欲廃絶し、座り込んで動かなくなりました。獣医師による治療を行いました。2日朝、飼育員がツシマヤマネコ舎で死亡しているのを発見しました。

老齢個体ということもあり、普段から特に気にかけて飼育を行い、体調不良になるたびに職員らが手を尽くしてきており、とても残念です。

4 エピソード

2004年4月19日福岡市動物園で生まれ、よこはま動物園ズーラシアで9年ほど過ごした後、2016年11月29日に東山動植物園へ来園しました。かわいらしい外見と性格で、ファンの多い個体でした。

【参考】

■東山動植物園のツシマヤマネコ飼育頭数（死亡した個体を除く）

3頭（オス2頭、メス1頭）

■国内のツシマヤマネコ飼育頭数

9施設 29頭（オス15頭、メス14頭） ※令和2年8月2日現在
（今回の死亡個体を除く）

■ツシマヤマネコについて

長崎県の対馬だけに分布する野生のネコであり、ベンガルヤマネコの亜種とされています。生息数は90または100頭程度と絶滅が心配されており、国の天然記念物で、平成6年3月に国内希少野生動植物種に指定されました。体長 約50～60cm、体重 約3～5kgの大きさで、体全体の斑点模様、額の縞、耳裏の白斑（虎耳状斑）が特徴です。主に森林に生息していますが、田や畑でネズミやモグラなどを捕食します。絶滅危惧IA類（環境省レッドリスト2020）。

■写真



在りし日のさんちゃん(令和2年7月21日撮影)